



みつち橋跡(現八王寺橋横西行道路)



旧大内渡跡

渡船場(廃川後なし)

大内渡

東高梁川には、4ヶ所の渡船場があったが、大内渡は、その一つで、現在のクラレ職員宅地内の南東の角にある楠の大木より、南へ30米付近にあった。現在は、クラレの工場敷地になっているが、八王寺より大内を経てこの渡しを渡り西酒津に至る。又、八王寺の蛟水橋が流失したときはこの渡しを渡っていた。



旧大内渡近くにお祀りしていたお地蔵

様

水島の空襲

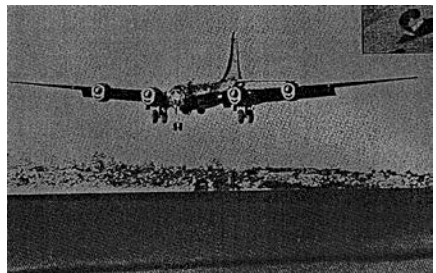
昭和20年6月22日、午前0時15分グアム島、北基地を離陸したB29爆撃機は午前8時30分頃、高度5,000m~6,000mにて広江、呼松方面より、5機~11機の奇数編隊で水島の三菱重工水島航空機工場に侵入、数分間隔で延べ110数機が500ポンド(220.7kg)の高性能爆弾を約603トン投下した。このため建造中の海軍用、中爆撃機(一式陸上攻撃機)数10機もろとも廃墟と化した。

この間約1時間30分、幸い当日は休日であったため出勤者は保守、保安要員のみであったため死者11人、重傷者11人の被害で済み、全体の被害の大きさに比べて人的被害は少なかった。

「私は、この日はよく晴れていたので早朝より白楽町の田んぼで麦刈を行っていた。8時頃空襲警報が鳴ったが、何時ものことで気にせず麦を刈っていた。すると、ザーザーザーと云う大雨が降ってくるような音が聞こえた。何だろうと思っているうち、ドドドドと云う遠雷のような音がする。機影は見えないが数10回聞こえているうちに止んだ。すると今度は警防団の人がトラック数10台に消防ポンプ(手押し型ガソリンポンプ)を積んで大高街道を続々と南下していった。妻の間に小さくなっていったが恐る恐る近所の人に聞いたところ「水島の工場がやられたらしい」との話を聞き同僚(この日は同僚が配管の補修に7人が出勤していた)の安否が気になったので急ぎ工場に行き惨状の中で無事を喜びあったことを覚えている。」



廃墟の工場に残る一式陸上攻撃機の残骸
(中央は、同機の銃座部分)



水島空襲後グアム島基地へのB29爆撃機の帰還
(日本時間6月22日17時03分帰還)



廃墟となった工場の全景



組立工場に残る航空機のエンジン

岡山の戦災

昭和 20 年 6 月 29 日未明、B29、138 機が岡山市に來襲、10 万発の焼夷弾を投下した・木造家屋の密集する市街地はたちまち火の海になり壊滅的な被害を受けた。

「私は、この日自宅で就寝していたが飛行機の爆音で目をさまし道に(現公民館前の道)出て東の空(倉敷駅と天満屋方面)をみると上空一面があかね色に染まり、花火のような光が明滅している。暗闇の上空からは B29 特有の爆音が不気味に聞こえ不安と恐怖に襲われたことを覚えている。」



岡山市公会堂から見た焼け跡

(中央道路の正面右のビルが中国銀行、左手の高いビルが天満屋、手前左手に現在県庁がある)



天満屋から南を見た光景

(前方に伸びる道が現在の表町の目抜き通り、コンクリートの建物だけが残っている)